

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援つむぎ			
○保護者評価実施期間	R6年11月10日		～	R6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	R6年12月1日		～	R6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	R611月10日		～	R6年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	28	(回答数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・各支援員が専門的な知識・経験を有している。それを生かし、支援する子に合った指導をしたり、教材を作成・使用している。	・訪問支援利用前に事前アセスメントで訪問し、行動観察・行動分析を行って準備している。	・保護者が家でもできる取り組みを支援員個人ではなく事業所内で情報としてまとめ、共有する。家でも無理なくできているかアフターフォローを行う。
2	・訪問先の方針に従って支援し、訪問先と綿密な情報共有を行っている。方針が掴めないときは適宜確認しながら支援している。	・積極的に保護者や訪問先の先生とコミュニケーションを取り、支援の提案を行なっている。	・第三者による外部評価を検討し、業務改善に繋げる努力をする。
3	・基本的には担当支援員は一人だが、必要に応じて、各子どもに合った支援を行うために子供一人につき専門職が二人入って分担するなどしている。	・支援員一人での指導が多いが、打ち合わせやオンライン会議、クラウドを利用して支援員間の情報共有を確実にしている。	・訪問支援員を増員し、チームでの支援を行うことで、質の高い支援を提供できるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者と支援する時間以外の交流の場を持っていないこと。	・保護者会など保護者同士が気軽に集える場所がない（R7年2月に同法人事業所完成予定にて解決見込み）。	・保護者会や保護者勉強会(テーマを決めた座談会など)を定期的に行う。保護者同士の繋がりや保護者と事業所間のさらなる情報共有に努める。
2	・保護者と事業所、担当支援員との円滑な連絡手段を持っていないため、急な相談の申し入れ等のスムーズな連絡が行えないこと。	・訪問支援員が不足している。	・保護者や訪問支援先との情報共有や連絡手段として、通信の発行やHP、インスタ等SNSを積極的に活用する。
3	・訪問支援員不足により待機している希望者が多いこと。	・訪問支援員が不足している。	・定期的な支援員の募集・教育を行う。